

隊員らが古旅館を改修

新たな交流拠点が誕生



↑リフォームで生まれ変わったあさひや（食堂の営業は不定期）



↑朝日屋旅館の面影を残す外観

7月13日、指江地区に「あさひや」がオープンしました。これは、空き家になっていた朝日屋旅館の建物を地域おこし協力隊隊員らがつくる商社「長島未来企画」が購入、リフォームして交流施設として再生させたものです。

当日は町内外から多くのかたが集まり、地元食材がふんだんに使われた料理を楽しみました。食堂の管理と料理を担当する同隊員の甲斐友也さんは「町民同士や町外のかたと町民をつなぐ交流拠点にしたい」と抱負を述べました。

Nセンターが起業家体験学習

高校生が対話力を磨く



↑事業者の仕事内容を聴き取る学生



↑発信力を身に付けるプレゼンの様子

長島大陸Nセンターは7月16日から18日の3日間で鹿児島純心女子高校（鹿児島市）の1・2年生40人を対象に起業家体験学習を実施しました。

これは、学生が社会で起こっているさまざまな事例に向き合い、考えたことを相手に伝えることで自身と他者との対話力を養うことを目的としています。

初日のフィールドワークでは、学生が町内の農業や観光業などの事業者を訪問し、職業体験やインタビューを実施。2・

3日目にレジャーランド太陽の里で行われたグループワークでは、事業者との対話を通して感じた仕事の魅力や課題などを伝える動画制作とプレゼンテーションを行いました。

居宅介護支援センター「達者の家」を訪問した2年生の小島真希さんは「利用者のかたとの信頼関係構築について学んだ。プレゼンを行い、自分の意見を上手く説明できるようなったと思う」と充実した様子でした。